

## 令和5年度監察課のいじめ問題に対する取組状況について

令和5年6月末現在

### 1 市のいじめの認知件数（教育委員会及び監察課が認知）

＜令和5年度＞ 計 85 件

#### 【参考】

＜令和元年度＞ 計 172 件

＜令和2年度＞ 計 169 件

＜令和3年度＞ 計 183 件

＜令和4年度＞ 計 337 件

### 2 監察課への通報相談件数

＜令和5年度＞ 通報・相談 36 件（いじめの認知 15 件）

#### 【参考】

＜令和元年度＞ 通報・相談 55 件（いじめの認知 11 件）

＜令和2年度＞ 通報・相談 69 件（いじめの認知 18 件）

＜令和3年度＞ 通報・相談 127 件（いじめの認知 42 件）

＜令和4年度＞ 通報・相談 151 件（いじめの認知 61 件）

### 3 監察課への通報ツールの内訳

＜令和5年度＞

- |                |                        |
|----------------|------------------------|
| ○ いじめ通報促進チラシ   | 相談・通報 9 件（いじめの認知 3 件）  |
| ○ いじめ相談フリーダイヤル | 相談・通報 13 件（いじめの認知 8 件） |
| ○ いじめ通報アプリ     | 相談・通報 10 件（いじめの認知 3 件） |
| ○ LINE相談予約     | 相談・通報 1 件（いじめの認知 0 件）  |
| ○ メール          | 相談・通報 0 件（いじめの認知 0 件）  |
| ○ その他（来庁、電話等）  | 相談・通報 3 件（いじめの認知 1 件）  |

## 4 その他の取組

### ○ いじめのサイン

児童、生徒及び保護者がパソコン、スマートフォン等から「いじめのサイン『守ってあげたい』」にアクセスし、いじめについてのチェックを行うことで、いじめの兆候についての気付きを促進する。

＜令和5年度アクセス実績数＞441件（本人189件、保護者252件）

#### 【参考】

＜令和4年度アクセス実績数＞1,978件（本人1,073件、保護者905件）

### ○ 子どもへの暴力防止プログラム（CAP）

小学校3年生及び小学校6年生を対象に暴力防止に関する実践的なプログラムを提供

※ 6年生には人権教育の一環として「いじめ」に特化したプログラムを展開

※ 市内市立小学校114クラスに実施予定

### ○ いじめ通報促進チラシ

令和5年度実績

小学校 相談・通報7件（いじめの認知2件）

中学校 相談・通報2件（いじめの認知1件）

### ○ いじめ事案再発防止への取組強化

監察課が行政的アプローチを行ったいじめ事案について、監察課による終結確認後のいじめ事案の再発防止に向けた取組を強化するため、保護者に対して手紙を送付するなどにより、終結後の状況確認としていじめの再発の有無や安全確保について確認を行っている。

### ○ いじめ被害者支援事業補助金

令和4年4月1日から、いじめにより被害者の所有物が被害を受け、加害側の保護者が被害者の所有物の補償ができないと認められるとき、当該所有物の原状回復に要する購入費（上限10,000円）を補助する制度を新たに設けている。

＜令和5年度申請なし＞

## 5 新たな取組

### ○ いじめゼロに向けた新アプローチに関する出前授業の実施

令和5年8月から令和6年2月の間に、子どもへの暴力防止プログラム（CAP）内において、監察課職員が直接学校に出向き、いじめ防止に係る取組姿勢を周知することでいじめの通報・相談の更なる促進を図る。